

人権問題に関する講演会

全国水平社の創設に学ぶ

令和2年

1/23 木
13:30 ~ 15:30

📍 総合図書館6階
図書館ホール
(豊中キャンパス)

対象者：全教職員、学生及び一般

講師

世界人権問題研究センター研究員、
水平社博物館研究員ほか

手島 一雄 氏

講師紹介

近現代の部落問題を歴史的な観点から研究。また、大阪大学をはじめとする人権教育や市民啓発の場で様々な問題提起を行い、「部落差別の歴史や現状に光を当てることで見えてくる、日本社会の問題を考えたい」と常々話されている。戦前の水平運動や融和運動にとどまらず、戦後日本社会と解放運動に関する論文も多数執筆。

講演内容

1922 年 3 月に結成された全国水平社創設の歴史的意味を考察する。通常、差別への怒りを基本に雄々しく立ち上がった側面が強調されるが、彼ら自身が直面した最大の問題は、長い差別の中で培われた自らの卑下意識や諦観であった。水平社を結成した被差別民は、この問題をどのように捉え、どう変えようとしたのか。事実即して検討してみたい。水平社結成から、もうすぐ100年。今日、子ども社会の「いじめ」問題や、大人社会にも確認できる「役に立たない人はいない」とする風潮など、自己肯定感をどう回復するのかが問われていると思う。そうした問題の解決の糸口について、皆さんと考えてみたい。

障害のある方など、特別な配慮が必要な場合は1月9日(木)までにご連絡ください。